

令和7年度使用中学校教科用図書
に関する調査報告書

教科名 社 会 (地図)

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	社会 (地図)
----	---------

発行者 略称	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
東書	2	地図 002-72	新編 新しい社会 地図	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独自でハチのキャラクターを作っており、要所で問いかけてくる構成となっている。 ・ キャラクターを活用して、課題設定のヒントを提示する流れで、生徒の主体的な学びにつながる工夫がある。 ・ 二次元コードから、都道府県の各地点のマークをタップすると、地域の写真などが出てくるようになっており、地形と地域の風景と関連付けて理解をすることに適している。 ・ 全体的に色が薄く、薄暗い印象があり少し見づらい。そのため、起伏がわかりにくく、地図を見る上で重要な立体的なイメージを持ちにくい。 ・ P33 にウクライナの国旗がヨーロッパ州の枠組みの中にある。 ・ 統計データが世界、日本ともに全体的にやや古いデータになっている。 ・ P9の「世界の地形」の色が絵画的で、海底も含めて印象的な地形のイメージをしやすいが、でこぼことした起伏はイメージしづらく、生徒によっては見やすさは様々であると考えられる。

発行者 略 称	発行者 番 号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
帝 国	4 6	地図 046-72	中学校社会科地図	<ul style="list-style-type: none"> ・色が鮮明でくっきりしているので、起伏をイメージしやすい。 ・地理の授業で資料を使用する際、最新のデータに基づいて考えることは大変重要であり、統計データが全体的に新しい。 ・P162 に地震だけでなく大雨のハザードマップなど、防災教育に使える資料が豊富にある。 ・線状降水帯の発生するしくみなど、現在起こっている災害がなぜ発生するのかを生徒が考える教材になっている。 ・デジタルコンテンツは州ごとまとめており、映像やグラフ資料など多彩に揃い充実している。 ・P59 のウクライナの国旗が、ロシア連邦とそのまわりの国々という枠組みにある。 ・P15、16 の「世界の地形」は色が鮮明で、海底のプレートの重なりなどもわかりやすく、日本が地震多発国だということを生徒が理解しやすい。 ・P8～P14 まで「地図で考える持続可能な社会」というコーナーが設けられており、SDGs を地図帳で考えることができる工夫がされている。 ・地図資料のところどころで建物や乗り物のイラストがあり、生徒が楽しみながら活用できる地図帳である。 ・写真がやや多く、少し見づらい生徒がいる可能性がある。

(様式2)

教科用図書調査に関する報告書

社会（地図）

観点別評価

「◎」優れている

「○」標準的

「△」やや劣る

選定の観点	選定の視点		東書	帝国
学習指導要領との関連	1	学習指導要領に示されている社会科の目標達成に結び付く内容になっているか。	○	○
	2	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫がされているか。	○	○
	3	「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成をバランスよく図るための工夫がされているか。	○	○
	4	言語活動の定着を図るための配慮がなされているか。	◎	○
	5	学習への興味・関心を高めるとともに、学びを深めるために、デジタルコンテンツを適切に活用することができる配慮がなされているか。	○	◎
	6	SDGs など、今日の課題が取り上げられ、生徒が興味・関心を持ち、主体的に学ぶとともに発展的な学習も行うことができる工夫がされているか。	○	◎
内容	1	地図やグラフ、イラストなど様々な資料を効果的に活用し、位置や空間的な広がりなどを考慮して社会的事象を地図上で理解することができる内容となっているか。	○	◎
	2	都道府県の名称と位置、都道府県庁所在地名など日本の地域構成と我が国の海洋国家としての特色、我が国の固有の領土、領域について理解できる内容となっているか。	◎	○
	3	大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して、我が国の国土の位置を理解できるような内容となっているか。	○	○
	4	面積の正しい地図や中心からの距離と方位の正しい地図など目的に応じた様々な地図があることを理解できる内容となっているか。	○	◎
	5	世界各地との時差については、日本と世界各地との時差から我が国と世界各地との位置関係を理解できるような内容となっているか。	○	○
	6	資料等が最新のものであり、適切に出典等が明示された内容になっているか。	○	◎
構成・分量	1	内容の量と学習時間が適切に配当されているか。	○	○
	2	生徒の発達段階に即し、系統的、発展的に構成されているか。	○	○
表記・表現	1	表記や表現について、文書や挿絵、写真等の使用が適切であるか。	○	○
	2	文字の大きさ、字間、行間などは適切であるか。	○	◎
	3	ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、色の使用、紙面の構成などについて、配慮されているか。	△	◎